



広島大学

平和と持続可能性に関する広島国際会議 2022 の参加者有志によるウクライナへの軍事的侵略に反対する共同声明



平和と持続可能性に関する広島国際会議（HICPS2022）は、広島大学平和と持続可能性に関する教育研究ネットワーク（NERPS）が主催し、様々な専門や立場の研究者や実務家が集まり、平和と持続可能性の重要な関係性について地球規模の視座に立って理解を深めようとするを目的に開催しました。平和と持続可能性が人類の存続に不可欠であることを世界に想起させるため、人類初の原子爆弾が使用された広島で開催しました。

「平和と持続可能性に関する広島国際会議 2022」の参加者有志は、会議の直前に始まり、会議期間中も行われているウクライナへの軍事侵攻に強く抗議します。私たちは、即時停戦と、外交的な政府間の対話によって地域の安全保障問題の解決を目指すことを求めます。私たちは、市民の命と社会基盤を保護すること、国際社会の援助と人道的救済活動による支援を強く要求します。

私たちは皆、武力紛争が地球と人類の持続可能性に対する最大の脅威であることを知っているはずで、昨日の UNHCR によると、ウクライナでは、わずか 1 週間で 100 万人の避難民が発生しました。モスクワからは、自国の兵士が 500 人近く死亡し、1,600 人が負傷したと発表がありました。ウクライナの危機管理局は、2,000 人以上のウクライナ市民が死亡し、輸送施設、病院、幼稚園、住宅、大学まで含む数百の建造物が破壊されたと発表しました。石油タンクの爆発は大量の有毒ガスを発生させ、周囲の環境を汚染します。建物やインフラの破壊は、大量の廃棄物の発生、生活環境や衛生環境の著しい悪化につながることは間違いありません。さらに、世代、性別、民族を問わず、戦争がもたらす精神的、心理的ダメージは計り知れないほど大きく、決して消えることがないばかりか、その社会に何世代にもわたって記憶されます。

問題の解決は、対話を通じて理性的かつ平和的に進めなければならないことは、過去の多くの歴史の失敗から私たちが学んだ教訓です。今こそ、人類の英知と能力を結集して、この教訓を再び思い出し、実行に移すべき時です。

NERPS は、学術コミュニティおよびネットワークとして、「平和と持続可能性に関する広島国際会議 2022」の参加者と協力しながら、平和的解決のために必要な新たな知見を常に探求し続け、その実現と行動の先頭に立ちたいと考えています。

2022 年 3 月 4 日